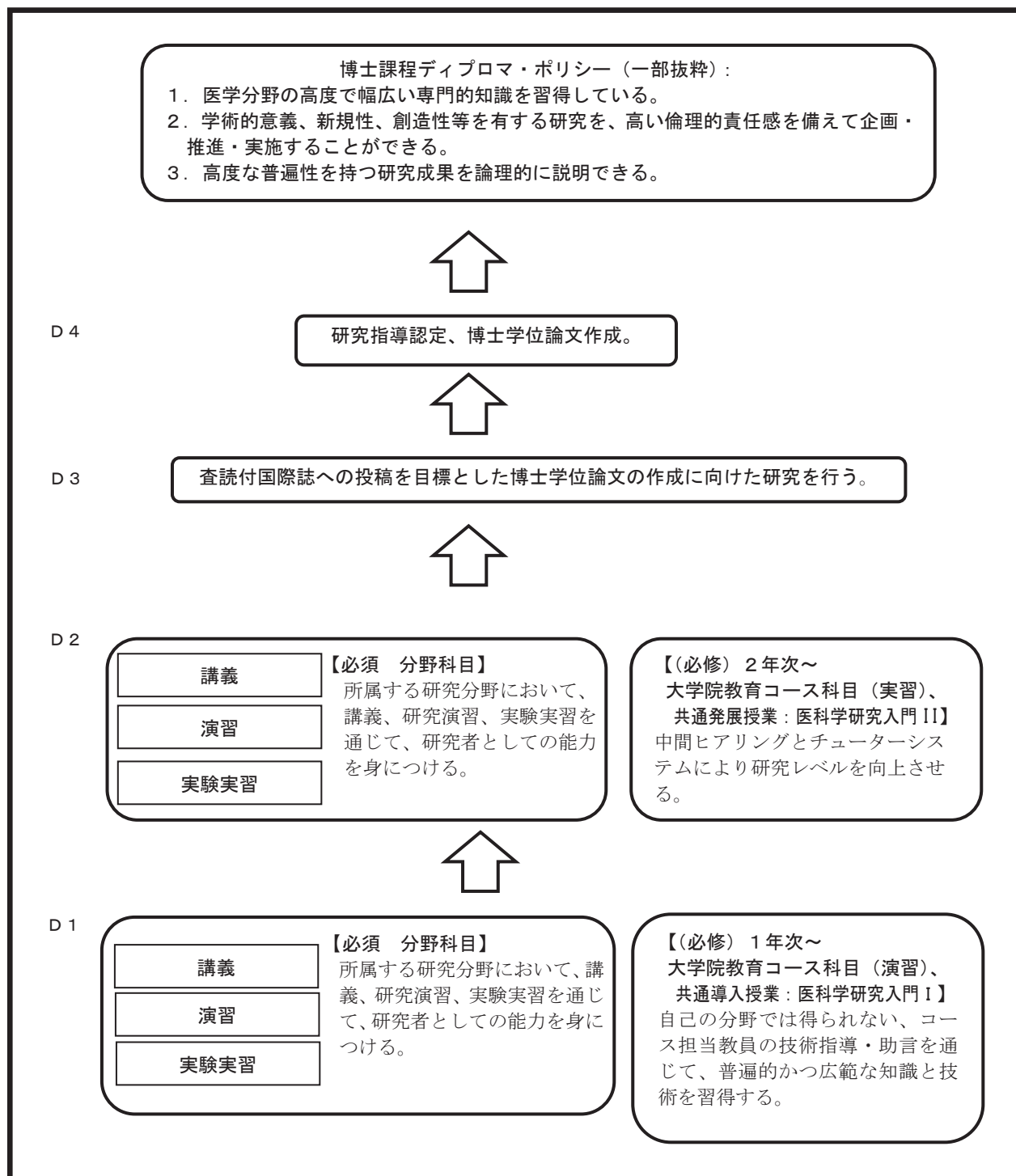
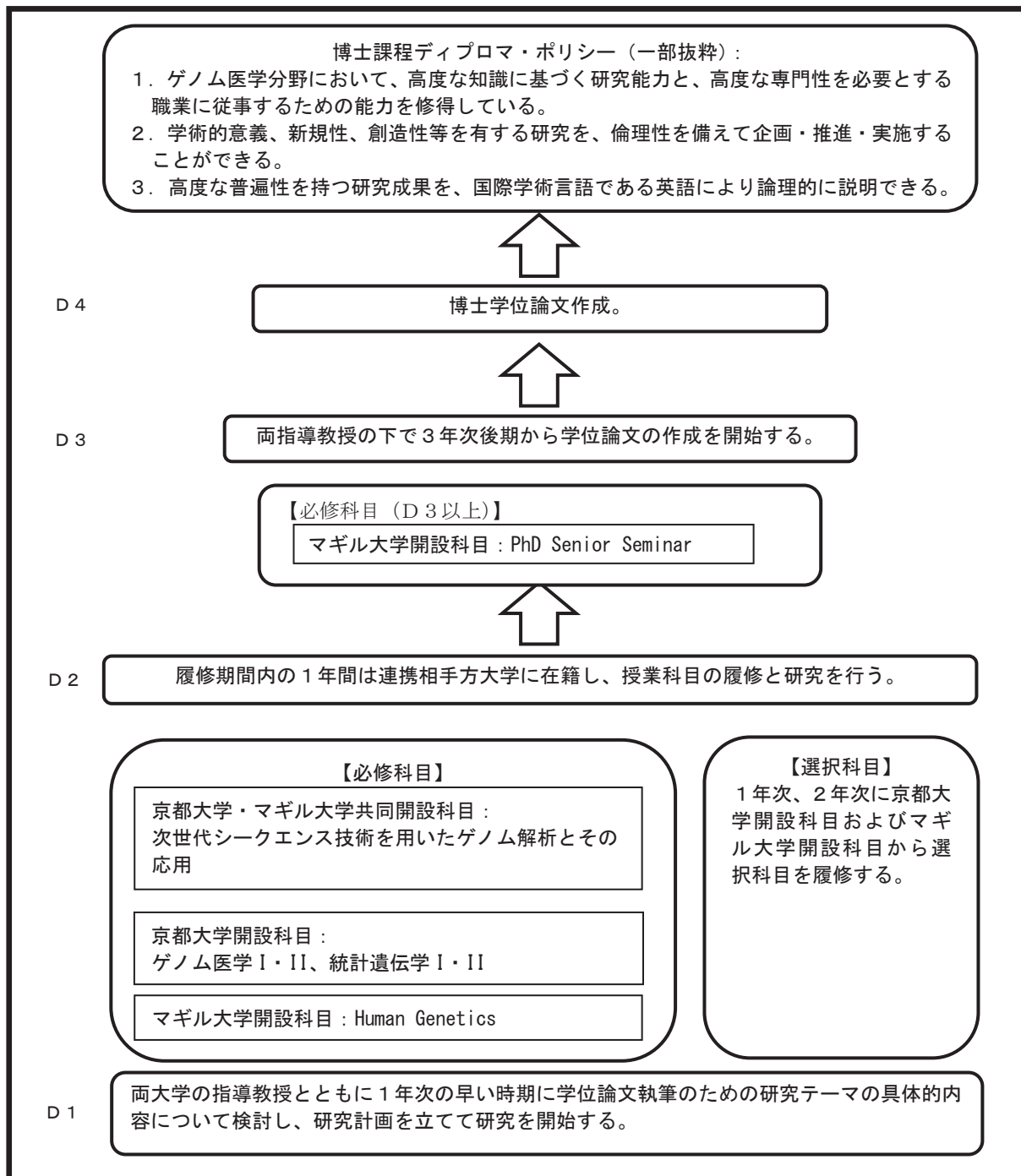


3. 医学専攻博士課程のコースツリー



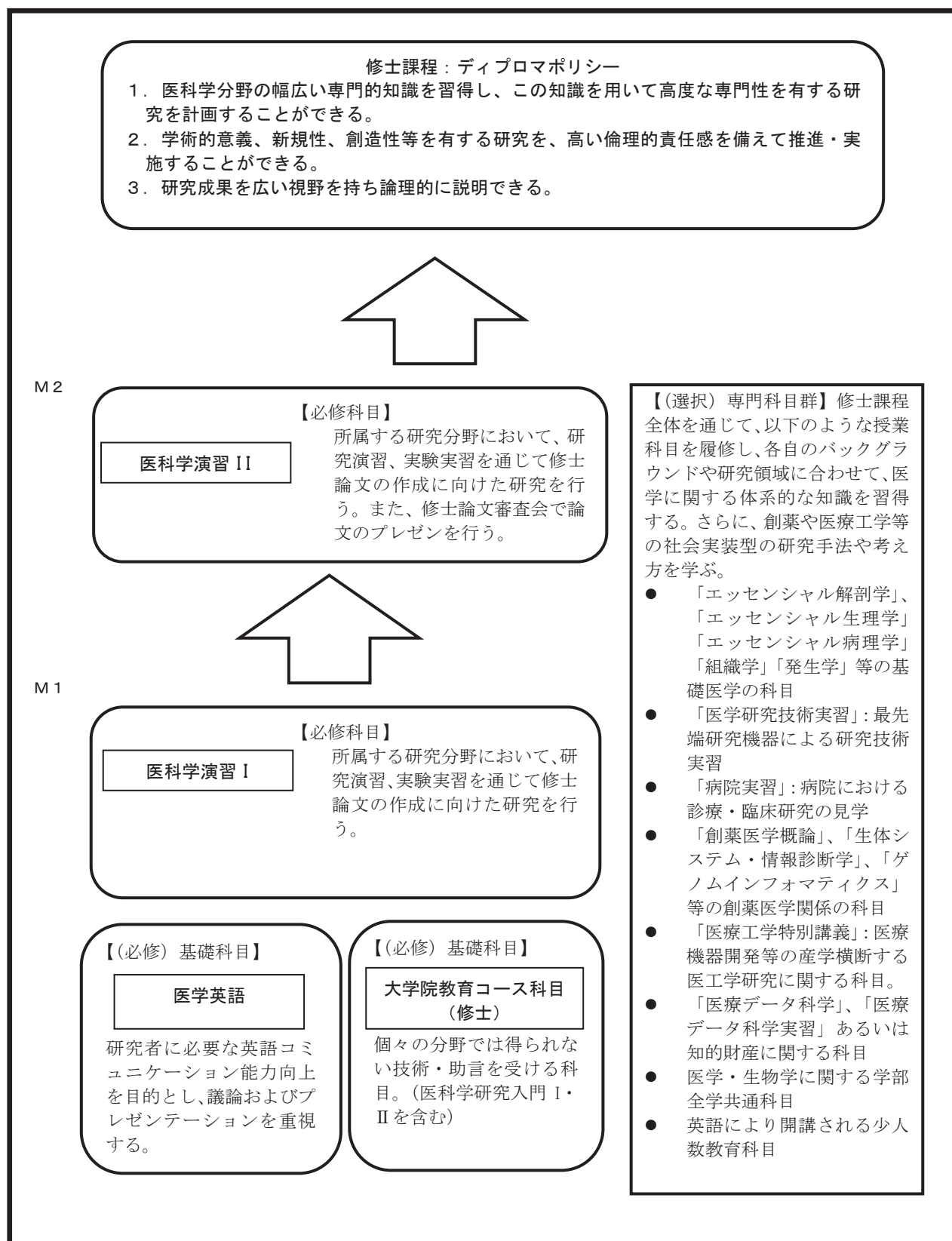
3. 京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻博士課程のコースツリー



◇ 京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻各研究分野の研究内容及び指導内容

京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻の各研究分野の研究内容及び指導内容については、医学専攻を参照すること。

4. 修士課程のコースツリー



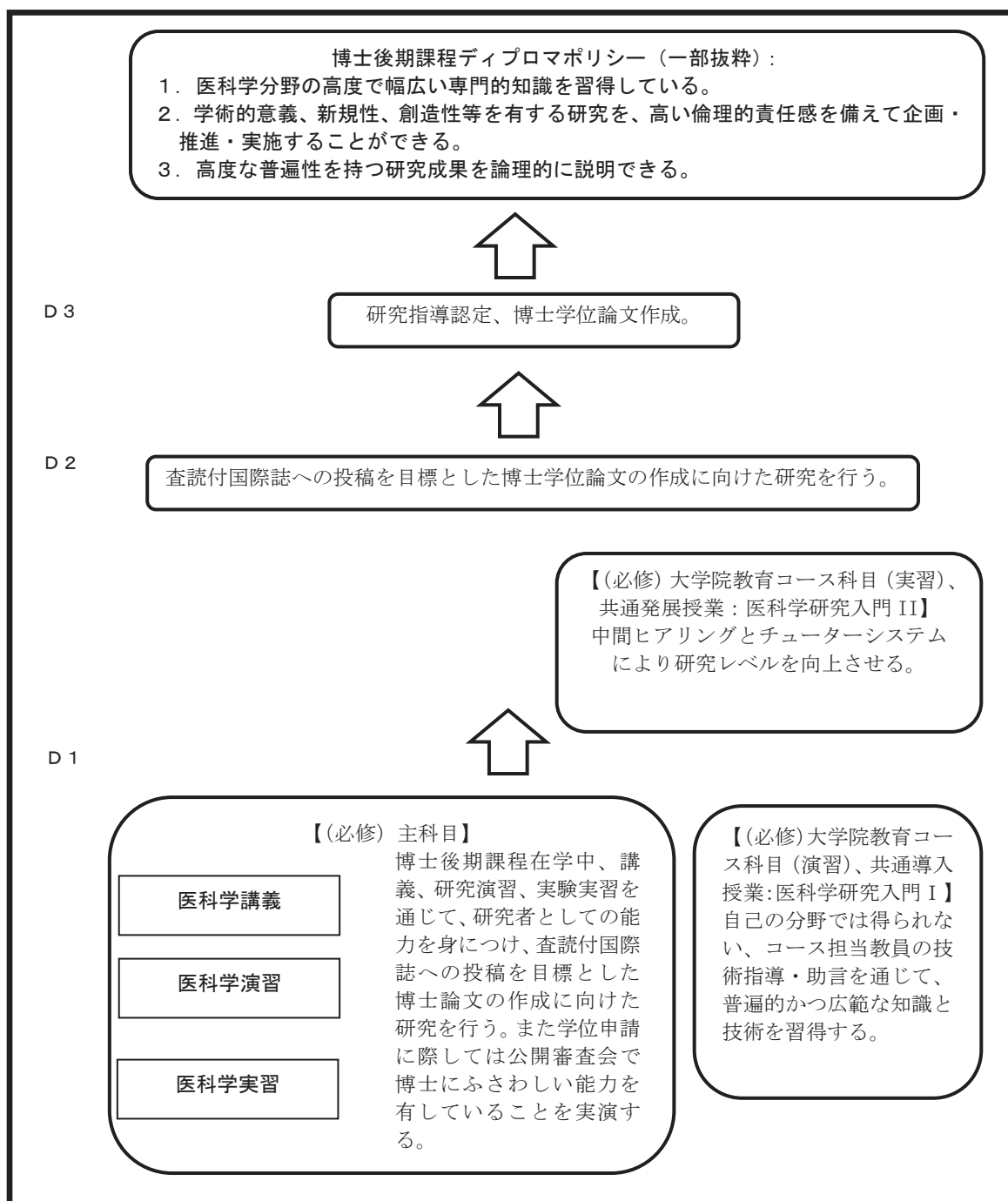
（「大学院教育コース」の概要は 54 頁に記載しています。）

講義・演習・実習を通じて研究者としての基礎的能力を育成するとともに、学術論文作成のトレーニングを行う。課程修了までに、少なくとも筆頭著者としての論文 1 編を完成させ、外国雑誌に投稿させることを目標に研究指導を行う。

※ 原則として 1 年間（年度）に履修科目として登録することができる単位数は 42 単位を超えることはできない。ただし、次の場合は超過を認める。

- (1) リーディングプログラムの履修者がリーディングプログラム科目を履修する場合
- (2) 社会健康医学系専攻特別コース・特別プログラム（MCR コース、遺伝カウンセラーコース、1 年制 MPH コース、知的財産経営学プログラム、臨床統計家育成コース）の履修者が、特別コース・特別プログラムにおける必修科目等を履修する場合

6. 博士後期課程のコースツリー



全体DP：「社会における人間」の健康や疾病に関わる問題を探知・評価・分析・解決する知識、技術、態度を有する高い素養を身につける

専門職学位課程 DP：

1. 社会健康医学に関わる実務・政策・調査・教育において、専門的かつ指導的役割を果たすことができる
2. 人々の健康に関わる経済・環境・行動・社会的要因について知識を深め、新しい知識と技術を生み出すことができる
3. 生み出した新しい知識と技術を健康・医療に関わる現実社会の実践、方策と政策に還元できる
4. 社会健康医学に関わる各専門の知識と技術をもって、個人・組織・地域・国・世界レベルで貢献できる

GCコース DP：
先端医療に対応できる高度な専門的知識とコミュニケーション能力を持ち、患者・家族の立場を理解して遺伝医療におけるインターフェースとなる能力を身につける

CBコース DP：
臨床研究の科学的な質を保つために必要な統計学基礎・臨床統計学の知識、臨床統計家に求められる技術、臨床研究の倫理的な質を保つために必要な知識・態度を身につける

知財プログラム DP：
生命科学分野における知的財産経営、技術経営に関する問題解決能力、実践・実務能力、及び、高度な専門性を身につける

課題研究（MCRコース・GCコース・CBコース・各種プログラムを含む、専門職学位課程全学生必修）

社会健康医学におけるコア6領域の科目群（エビデンスの活用科目群を除く）

専門職学位課程 1～2年次（MCRコース、1年制MPHコースは1年次）	応用	中級	基礎	疫学	医療統計	環境・感染症	政策・マネジメント	行動科学・倫理	健康危機管理
				疫学演習			行政医学・産業医学 医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査 保健活動論	医療倫理学各論(GC) 健康デザイン論	感染症数理モデル入門 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション
				質的研究・演習 QOL・PRO評価法	データ解析の方法 データ解析実習	環境・感染症論 環境曝露・リスク評価	医薬品の開発と評価 産業保健と労働関連法	健康・予防医療学領域の実装科学	
				質的研究入門 ヘルスケア研究の進め方 人間生態学	医療データ科学実習			医療社会学・基礎	

MCRコース DP：臨床研究を支える基本理論・知識・実践技術に習熟し、医療者としてのリサーチ・クエスチョンを解決するために、研究プロトコルの作成、研究の実施・マネジメント、データの解析、解釈、論文文化を独力でできる（或いは、適切な時期に専門家に適切な相談・照合ができる）

MCRコース	社会疫学研究法（MCR限定）	臨床研究デザイン管理学（MCR限定・CB限定）		医療技術の経済評価（MCR限定）
	臨床研究計画法Ⅰ・Ⅱ／演習Ⅰ・Ⅱ（MCR限定） 臨床研究特論（MCR限定）	データ解析法特論（MCR限定）		
	EBM・診療ガイドライン特論（MCR限定）	系統的レビュー（MCR限定）	文献評価法（GC/MCR）	

コア(選択)必修	エビデンスの活用				健康情報学Ⅰ・Ⅱ	グローバルヘルス通論
	コア領域1	コア領域2	コア領域3	コア領域4	コア領域5	コア領域6 (上記3科目もコア選択必修)
	疫学Ⅰ(疫学入門) (コア必修)	医療データ科学 (コア必修)	感染症疫学	医療制度・政策・経済	行動科学	健康危機管理の 制度政策と実践
			産業・環境衛生学	社会健康医学と健康政策	基礎医療倫理学(GC)	レジリエントな社会づくり のイノベーション: 展望・自由提言
			医療政策・行政	医学コミュニケーション基礎		
			保健・医療の経済評価	社会疫学		

GCコース GC：遺伝カウンセラー
遺伝医学特論
ゲノム科学と医療
基礎人類遺伝学演習（GC限定）
臨床遺伝学演習（GC限定）
遺伝カウンセリング演習Ⅰ・Ⅱ（GC限定）
遺伝カウンセリング実習Ⅰ・Ⅱ（GC限定）
基礎人類遺伝学
遺伝医療と倫理・社会
遺伝カウンセリングコミュニケーション概論（GC限定）
臨床遺伝学・遺伝カウンセリング

CBコース CB：臨床統計学育成
統計モデルとその応用
生存時間解析(CB)
臨床研究実地研修Ⅰ・Ⅱ（CB限定）
臨床統計学実習Ⅰ・Ⅱ（CB限定）
機械学習概論
臨床試験の統計的方法
統計的推測の基礎（CB）
統計的推測の基礎・演習（CB限定）

知財プログラム 知財：知的財産経営学
パトナ・レナック特論
創薬医学特論
知的財産法演習
特許法特論・演習（前期）（後期）
契約実務演習
パトナ・レナック
知的財産経営学基礎
医療ビジネス・イノベーション概論
（生命科学系以外）薬理学

医療経営ヤングリーダープログラム
医療経営特別カリキュラムⅠ
医療経営特別カリキュラムⅡ
医療経営ケースディ

その他科目

医学基礎領域：
医療系学部等以外出身者必修
医学基礎Ⅰ
医学基礎Ⅱ
臨床医学概論

社会健康医学
課外実習
（インターンシップ）

健康危機管理基盤プログラム DP：
健康危機管理に関する問題解決能力、実践能力、研究能力を身につける。実践面では多様なセクターと、研究面では多様な学問分野と協働する能力を身につける

健康危機管理基盤プログラム
【コア領域6の選択必修科目と下記より5科目7単位以上】

健康危機管理セミナー（必修）	公共政策と健康危機管理
災害時の避難生活支援	災害時の保健医療福祉における情報管理・活用

医学研究科 社会健康医学系専攻 博士後期課程 コースツリー

作成日：2026年1月29日

全体DP:

「社会における人間」の健康や疾病に関わる問題を探知・評価・分析・解決するために必要な学術課題を考究する素養を身につける

博士後期課程DP:

1. 社会健康医学に関わる実務・政策・調査・教育において、**高度に**専門的かつ指導的役割を果たすことができる
2. 人々の健康に関わる経済・環境・行動・社会的要因について**高度な**知識を深め、新しい知識と技術を生み出すことができる
3. 生み出した新しい知識と技術を健康・医療に関わる現実社会の**高度な**実践方策と**高度な**政策に還元できる
4. 社会健康医学に関わる各専門の**高度な**知識と技術をもって、個人・組織・地域・国・世界レベルで貢献できる

【3年次】博士論文

博士課程セミナー

社会健康医学・臨床疫学研究（演習・実習）

各自の到達目標に合わせ本専攻専門職学位課程の各科目を履修することができる

以下の各科目について、本専攻専門職学位課程からの進学者は履修する必要はない

社会健康医学におけるコア6領域の科目群

コア(選択)必修	疫学	医療統計	環境・感染症	政策・マネジメント	行動科学・倫理	健康危機管理	医学基礎領域 (医療系学部等以外 出身者) 医学基礎Ⅰ 医学基礎Ⅱ 臨床医学概論
	コア領域1 疫学Ⅰ（疫学入門） （コア必修）	コア領域2 医療データ科学 （コア必修）	コア領域3 感染症疫学 産業・環境衛生学	コア領域4 医療制度・政策・経済 社会健康医学と健康政策 医薬政策・行政(GC) 保健・医療の経済評価	コア領域5 行動科学 基礎医療倫理学 医学コミュニケーション基礎 社会疫学	コア領域6 感染症数理モデル入門 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション 健康危機管理の制度政策と実践	

左記のコア6領域について、コア必修およびコア3～6の各領域から1単位以上合計8単位を修得することを修了の要件とする。